

次世代の学校・教育現場を見据えた
先端技術・教育データの利活用推進

成 果 報 告 会

令和7年 2月13日(木)
さいたま市教育委員会

研究テーマ

誰もが輝く未来の学び場 ～学びの多様化学校への挑戦～

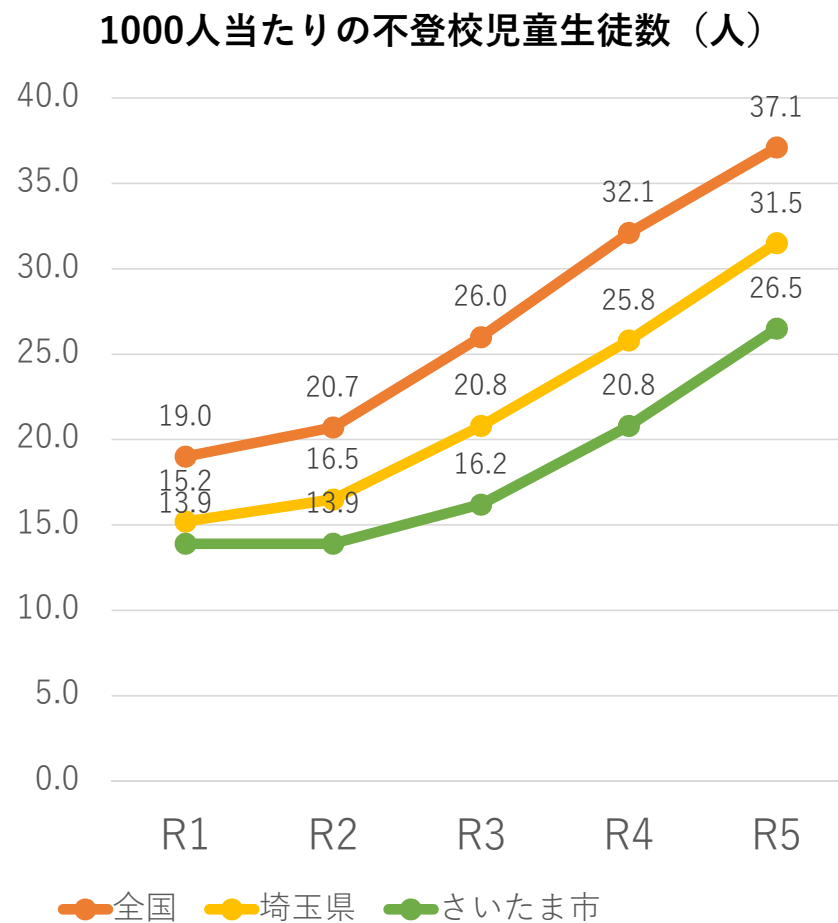
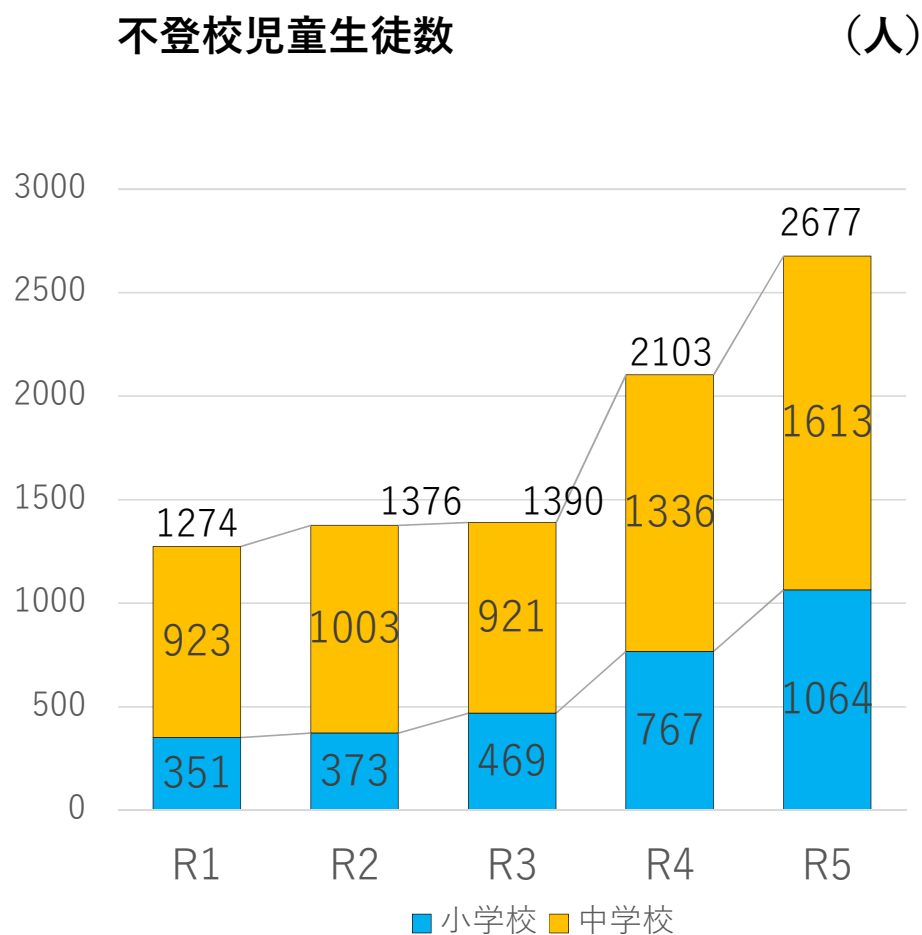
オンライン登校 × リアル登校
先端技術 × 個別最適な学び

目次

- (1) Growth設置の経緯
- (2) Growthの概要とこれまでの活動
- (3) 令和6年度の新たな支援
- (4) 令和6年度の成果
- (5) 令和6年度の課題
- (6) 「学びの多様化学校」について

(I) Growth設置の経緯

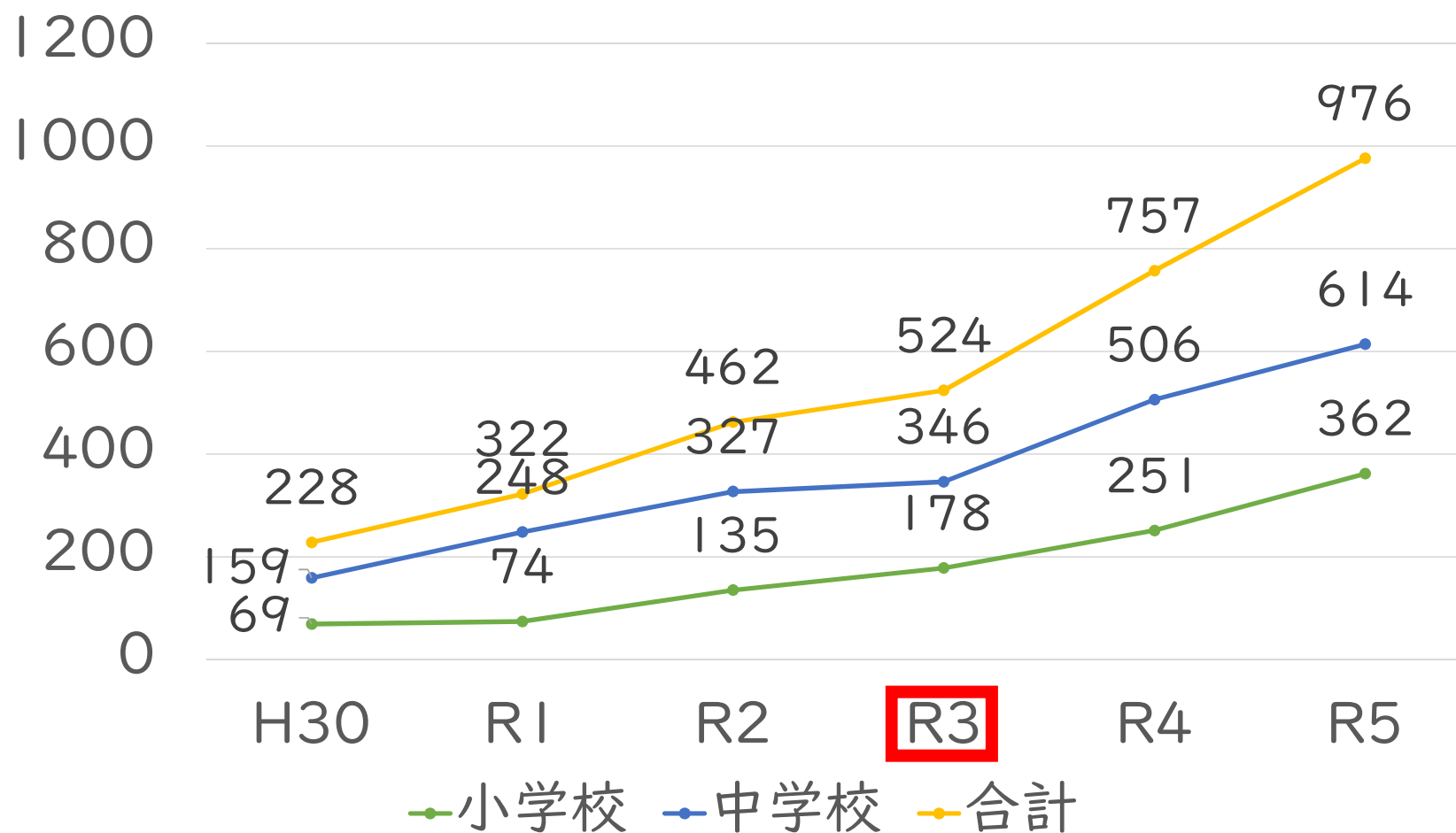
さいたま市の不登校の現状



(児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より)

(I) Growth設置の経緯

学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けていない人数



(2) Growthの概要とこれまでの活動

Growthの目的と支援体制

【目的】

不登校等児童生徒の社会的自立

【対象】

さいたま市立小・中・高等・中等教育学校に在籍する、原則30日以上欠席が続いている児童生徒

【R4年度体制】

係長	1名
小学校担当	1名
中学校担当	2名

【R5年度体制】

係長	1名
小学校担当	2名
中学校担当	4名
専門職	3名

【R6年度体制】

係長	1名
小学校担当	3名
中学校担当	3名
専門職	3名

(2) Growthの概要とこれまでの活動

令和4年度Growthにおける支援



オンライン学習



体験プログラム



子育て学習会の実施

保護者会の実施

教育相談等

(2) Growthの概要とこれまでの活動

令和4年度Growthにおける課題

- 令和5年3月末時点申込者数235人
- デジタルと不登校支援の親和性

△ コミュニケーションの機会

△ 個別最適な学びを提供する仕組み

(2) Growthの概要とこれまでの活動

令和5年度Growthにおける支援

- ・授業型支援の充実（6回／W → 9回／W）
- ・2D／3Dメタバースの活用
- ・体験活動の充実（オフ会 2回 → 12回）
- ・メンターによる支援
- ・先端技術を活用した学びの充実
- ・専門職によるオンライン相談
- ・保護者支援の充実（保護者会 2回 → 3回）

(2) Growthの概要とこれまでの活動

令和5年度Growthにおける課題

- ① メタバースの利用率の向上
- ② 社会性・自己肯定感の向上
- ③ 個別最適な学びの充実
- ④ 先端技術活用による
探究的・協働的な学びの充実
- ⑤ 学校との情報連携

(3) 令和6年度の新たな支援 前年度の課題解決に対する取り組み

- ・ファブスペース (Growth LAB) の開放 ①③④
- ・多様なオフ会の実施 ①②
- ・社会を学ぶ(よのな科)授業の実施 ②
- ・メンタルヘルス教育(こころの学習)の実施 ①②
- ・児童生徒の状況確認の充実および情報共有 ⑤

(3) 令和6年度の新たな支援

ファブスペース (Growth LAB) の開放 ①③④

ファブスペース (通称:Growth LAB) 概要

目的

- ・自ら学びをデザインする力の育成
- ・児童生徒の好奇心を磨き、新たな価値を創造する力の育成

①Growth LAB紹介 (月1程度)

レベル1
何ができるかを知る活動



④LABの開放 (月2回実施)

レベル4
身近な家族や仲間のために
創作する活動
レベル3
自分のために創作する活動



②体験会 (7月中3日間) ③ワークショップ (月1回)

レベル2
何ができるのかを体験する活動

生物顕微鏡



3Dモデリング



コンピュータ・刺しゅうミシン



ドローン



3Dプリンタ



令和5年度の課題 ①メタバースの利用率の向上 ③個別最適な学びの充実 ④ 先端技術活用による探究的・協働的な学びの充実

(3) 令和6年度の新たな支援

多様なオフ会の実施 ①② ゲーム大会

運動会



心肺蘇生法



(3) 令和6年度の新たな支援 社会を学ぶ(よのな科)授業の実施 ②

金融教育



防災教育

【Growth】三井住友銀行オンライン...

一億円を持った男...!!

09:14

制限する ポップアウト チャット 参加者 手を挙げる リアクションする 表示 その他 カメラ マイク 共有 退出

防災とは

〈法律では〉
○災害(さいがい)を未然(みぜん)に防止し、災害が発生した場合における被害(ひがい)の拡大(かくだい)を防ぎ、及び災害の復旧をはかることをいう。(災害対策基本法第2条第2項)

〈辞書では〉
○災害を防ぐこと。

※加えて、災害が発生した場合に被害を最小限に抑える「**減災**」と 災害によって被害を受けたものをもとの状態に戻す「**復旧**」が、防災の定義に含まれています。

防災の日 9月1日

え ... すべて表示

(3) 令和6年度の新たな支援 メンタルヘルス教育(こころの学習)の実施 ①②

3月21日 (水) 1時間目 こころの学習 (視覚録画中)

04:21

制御する ポップアウト チャット 参加者 手を挙げる リアクションする 表示 その他 カメラ マイク 共有 退出

こころの学習

- ・だれでも「こころ」をもっていますが、「こころ」の勉強をすることはあまりありません。
- ・楽しくなったり、うれしくなったりするだけでなく、だれでも、心配したり、悲しんだり、怒ったりすることがあります。
- ・子ども、大人、強い人、弱い人、大きい人、小さい人、どんな人でも、こまっていることがあります。
- ・「こころの学習」では、こまっているときに、元気になったり、リラックスできたりする方法を学ぶ時間です。

17:33

チャット 参加者 手を挙げる リアクションする 表示 その他 カメラ マイク 共有 退出

天

い

1/27

京島 t17890

(3) 令和6年度の新たな支援

児童生徒の状況確認の充実および情報共有 ⑤

◎情報共有ファイルの作成

番号	申込日	氏名	ふりがな	在籍校	学年	保護者氏名	電話番号	学校連携	利用申込書	ウェルカム	1か月後面談	活動履歴全くなし(9~10月)	長欠	登校	教育支援センター利用	GCC	利用室	主担当	TEL	概要・メモ等
								○	4月24日	4月22日	6月12日			全		見守り		学校		R5校長先生からの依頼でGrowth継続相談。R6教室に戻る事が多かった。よい方向に向かっているとのこと。引き続き見守り。



◎ケース会議にて共有 → 関係各所へ情報共有

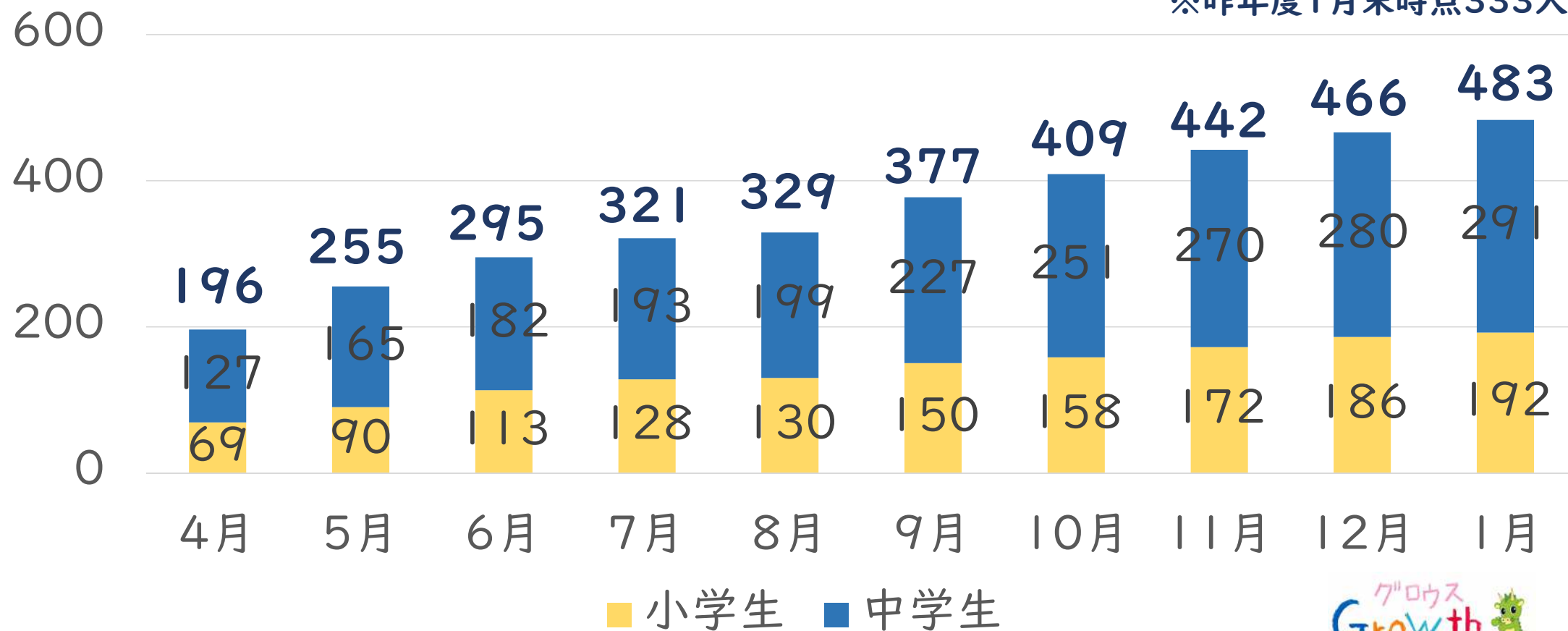
(4) 令和6年度の成果

- Growth利用児童生徒数の推移
- 学習の個性化
- Growth LABに関するイベント実施回数
- Inspire High利用状況
- 3Dメタバース参加人数
- 体験等参加人数
- 成果検証アンケートの結果
- Growthの活動を通して変化の見られた児童生徒
- 児童生徒・保護者の声

(4) 令和6年度の成果

Growth利用児童生徒数の推移

※昨年度1月末時点333人



(4) 令和6年度の成果

学習の個性化

【授業型支援】

	参加割合 (%)	平均接続時間 (分)
R5	49	34.5
R6	50	34.5

【個別学習支援】

	参加割合 (%)	平均接続時間 (分)
R5	15.7	26.3
R6	29.9	37.2



(4) 令和6年度の成果

Growth LABに関するイベント実施回数(1月末時点)

	R5	R6
回数	1	17
参加人数	38	199(67)

※()内の数字は実人数



(4) 令和6年度の成果

Inspire High 利用状況

実施回数	R5	R6
実施回数	12	6
平均参加人数	10.75	14.57
OP入力文字数	103.6	117.0
FB入力文字数	32.8	38.4
RF入力文字数	122.1	169.2

(4) 令和6年度の成果

3Dメタバース参加人数

	7月 レク	1学期 終業式	2学期 始業式	10月 レク	11月 レク	2学期 終業式	合計
人数	30	42	52	13	17	40	194 (94)

※()内の数字は実人数



(4) 令和6年度の成果
体験等参加人数【1月末時点】

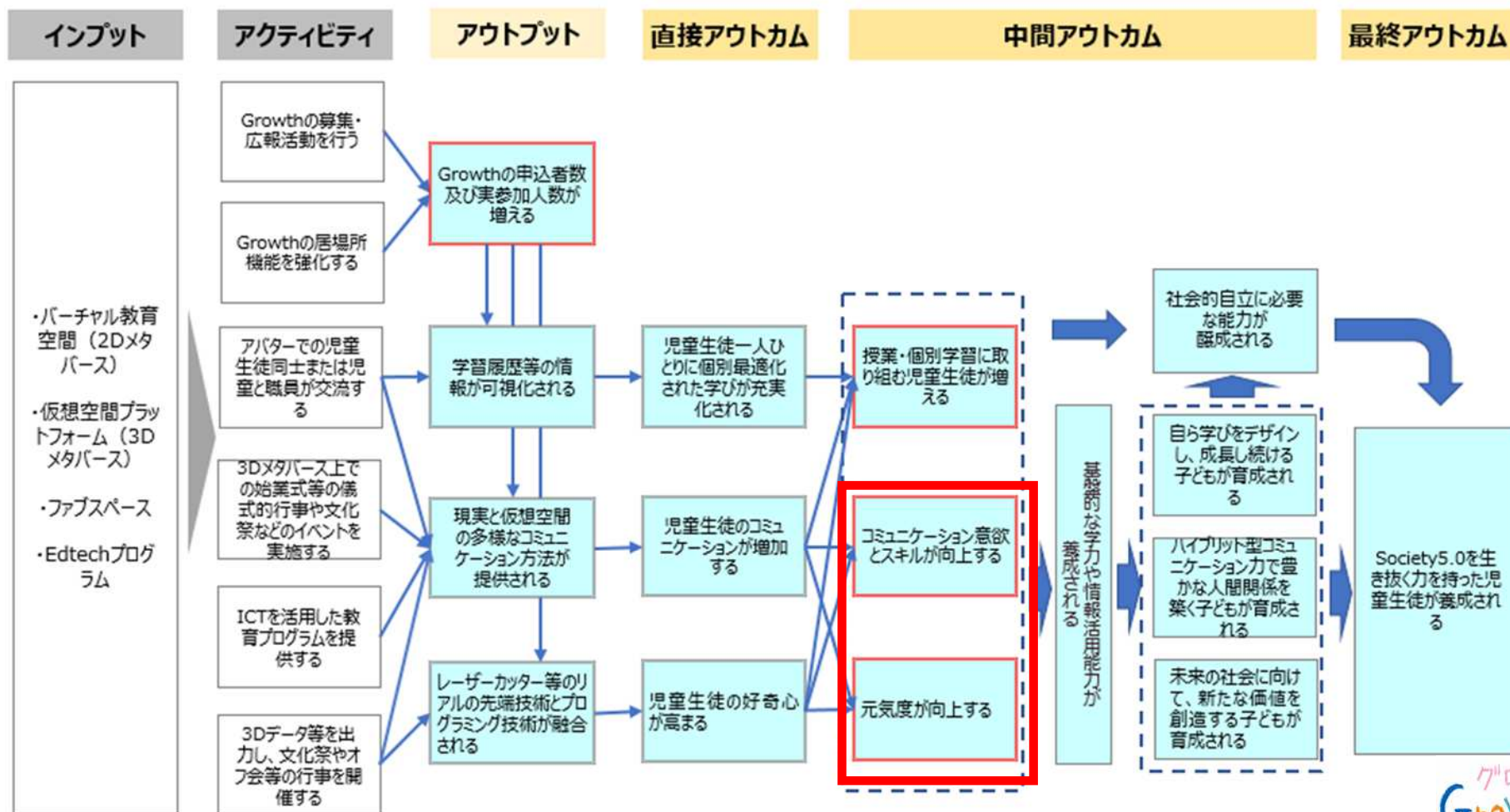
	オフ会	日帰り体験活動
回数	12(10)	2(1)
人数	353(223)	89(31)

※()内の数字は昨年度同時期のもの



(4) 令和6年度の成果

ロジックモデル内の成果検証アンケートの位置づけ



(4) 令和6年度の成果

成果検証アンケートの項目

➤ 社会性を測る項目

- 1 人と関わることに前向きだ
- 2 人とあいさつなどのやりとりができる
- 3 その場の雰囲気に合わせて話や態度ができる
- 4 やりたいことがあっても他の人に合わせて、自分のやりたいことを我慢できる
- 5 自分の考えや気持ちをまわりの人に伝える方法が分かる
- 6 自分の考えや気持ちをまわりの人に伝えることができる
- 7 周りの人に、自分が困っていることを話せる
- 8 疑問に感じたことを周りの人に聞くことができる
- 9 グロウス内に安心できる居場所がある
- 10 オンラインでは、人に挨拶したり、話しかけたりしやすい

【人とかわる楽しさ】

- 1・2 人と関わる抵抗感
- 9・10 グロウスへの所属感等

【基本的やりとり】

- 3・4 状況判断、協調性

【意見を伝えられる】

- 5・6 考え・気持ちを表現する
- 7・8 助けを求める

➤ 元気度を測る項目

- 1 ぐっすり眠れる
- 2 好きなことがあり、その好きなことが行える
- 3 自分の気持ちを分かってくれる人がいる
- 4 今の自分に満足している
- 5 体の調子がよい
- 6 生活のリズムが整っている
- 7 元気いっぱいだ
- 8 楽しみやうれしいことがある
- 9 落ち込むことがあっても、また元気になる感じがする。
- 10 何かやろうと思えばやれそうな気がする

【心身の健康】

- 5・7 ストレスによる体調不良
- 1・6 生活リズム・食欲、睡眠

【意欲】

- 2・8 楽しいことを楽しめる
(大事にしたいことがある)

【自分を認められる】

- 3・4 認められる体験 (自他)
- 9・10 心と体の回復、自己肯定感

➤ 自己肯定感を測る項目

(4) 令和6年度の成果

成果検証アンケートの結果

指標名	測定方法	R5結果	目標値	R6結果 (12月末実績)
社会性の向上	アンケートで社会性が向上したと回答した生徒の割合	63.5%	55%	63.7%
元気度の向上	アンケートで元気度が向上したと回答した生徒の割合	62.7%	55%	68.4%
社会的自立力の醸成	アンケートで自己肯定感の向上を測る質問について向上した生徒の割合	未集計	50%以上	48.4%

※利用申込後に、「社会性の向上」「元気度の向上」「自己肯定感の向上」を測るアンケート(1点から4点で回答し、4点が最も良い)の第1回目を実施。以降、定期的にアンケートを実施し、変化を分析。

(4) 令和6年度の成果

Growthを通して見られた児童生徒の変化

【Aさん(中学校1年生)の場合】 ※★が、変化のきっかけとなった出来事

令和6年4月 申込 ※小学校3年生から不登校

小学校とのかかわりを拒否



Teams及びメタバースの利用少ない



中学生となり、中学校とのかかわり開始(月に1度校長室登校) ★



令和6年9月 オフ会(心肺蘇生法講習)に参加 ★



令和6年10月、11月、12月のオフ会に参加



Teams及びメタバースの利用増加



Growth LABに参加(小学生のお世話をする)

(4) 令和6年度の成果

Growthを通して見られた児童生徒の変化

【Bさん(小学校4年生)の場合】 ※★が、変化のきっかけとなった出来事

令和6年6月申込 ※小学校1年生から不登校

小学校とのかかわりを拒否

Teams及びメタバースの利用少ない

興味の湧いた授業へ参加(9月実施 道徳の授業)

1か月后面談の実施(学習相談→質問チャットの活用を促す)

質問チャットへの質問の活用(微分積分の質問)

Teams及びメタバースの利用増加

11月オフ会への参加・継続的利用

◎道徳
楽しめば好きになる(小3)
内容項目
【希望と勇気、努力と強い意志】



(4) 令和6年度の成果

児童生徒・保護者の声

【児童生徒】(Growth LABの感想)

- ・Growth LABは普段学校にはない技術があるから楽しい。
- ・ドローンを飛ばすのが難しくて、工夫するのが楽しかった。
- ・いろいろな機械を使ってみたり、友達や先生と交流できたから楽しかった。
- ・普段刺しゅうを縫っているところは、中々見られないので、見ていて楽しかったです。
- ・サンタさんへの手紙を、コンピュータミシンで縫うことができてよかった。

【保護者】(Growthの感想)

- ・Growthの活動には、先生の話聞きつつ、チャットを楽しんでいる様子があるので安心している。
- ・Growthは楽しそうにやっていて、それを超えて夢中になっている。
- ・朝のHRとか、みんな活気がある。チャットには参加していないが、見てるだけでも、ひとりじゃない感じがしていい。
- ・中学部に入って、授業がガラリと変わって、お友だちのチャットが活発で、掛け合いで進めている様子があるのが新鮮です。本人は積極的に発言する様子はまだないけれど、楽しんでいる。学校の授業のようで、同世代の子たちが、どんな風に考えているのかが活発に伝わってとてもありがたい。
- ・昨年度より、勉強を自らするようになった。メタバースで自分で勉強する席を決めた。毎日決まった時間で保護者が声掛けしなくても動くようになった。

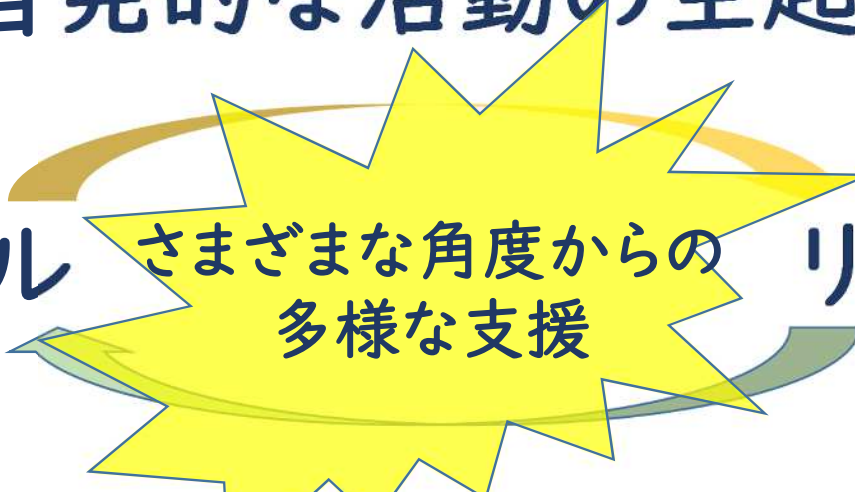
(4) 令和6年度の成果

令和6年度の取組を通して、得られた新たな知見

メタバースによる児童生徒の居場所の創出
(指導主事×専門職×仕掛け)



自発的な活動の生起

デジタル  リアル
さまざまな角度からの
多様な支援

専門職の重要性

(5) 令和6年度の課題

Growth継続率について

指標名	測定方法	R5成果	R6成果
申込者・参加 人数の増加	①申込者数	334 (1月末)	466 (12月末)
	②ホームルームまたは授業に1回以上参加した児童生徒数	262	371
	継続率 各月の②÷①の平均	未集計	65%

(5) 令和6年度の課題

課題

Growthの継続利用率の向上

Growth登録児童生徒の個別の情報収集と分析

(6)「学びの多様化学校」について

- ・ 学びの多様化学校3つの特色
- ・ 学びの多様化学校のカリキュラム(案)
- ・ 「学びの多様化学校」開校後の学びの選択肢

(6)「学びの多様化学校」について

学びの多様化学校3つの特色

特色Ⅰ いつでもどこでも学びにアクセス

市内6か所のキャンパスでも、家でも学ぶことができます。その日のお子様の状態でキャンパスへの登校が可能な場合にはキャンパスへ登校し、難しい場合には、自宅からオンラインで授業に参加することも可能です。

※各キャンパスへの通学は、各自、徒歩や公共交通機関、自転車（中学生以上を想定）となります。保護者による送迎も可能です。なお、通学に必要な交通費等は、各ご家庭でご負担いただきます。



(6)「学びの多様化学校」について

学びの多様化学校3つの特色

特色2 自分らしく学べる教科「未来工房」の設定

必修

- 音楽、図画工作・美術、体育・保健体育、技術・家庭の内容を関連付けた学習
- こころの仕組みなどについて学ぶメンタルヘルス教育

選択

- 自分の好きなことや興味・関心のあることに没入できる時間
- 先端技術を活用した探究的な学びの時間

< 3Dプリンター >



(6)「学びの多様化学校」について

学びの多様化学校3つの特色

特色3 安心できる居場所

転入学前のみならず、転入学後も学校生活における悩みは多くあると考えます。
さいたま市立「学びの多様化学校」では、児童生徒一人ひとりのそれぞれの悩みに、担任等はもちろん公認心理師や精神保健福祉士などの専門職が相談に乗ります。
また、卒業後の進路についても、一人ひとりの希望をもとに、教員が、お子様や保護者と相談を重ねながら、安心して進路先を選ぶことができるようにします。対面での面談ができない場合には、メタバースでの音声面談や、チャットのやりとりも可能です。

※昼休みの時間についても各自のペースで過ごせることを大切にしています。

一斉での給食はありませんので、各自で昼食を用意していただきます。



(6)「学びの多様化学校」について

学びの多様化学校のカリキュラム(案)

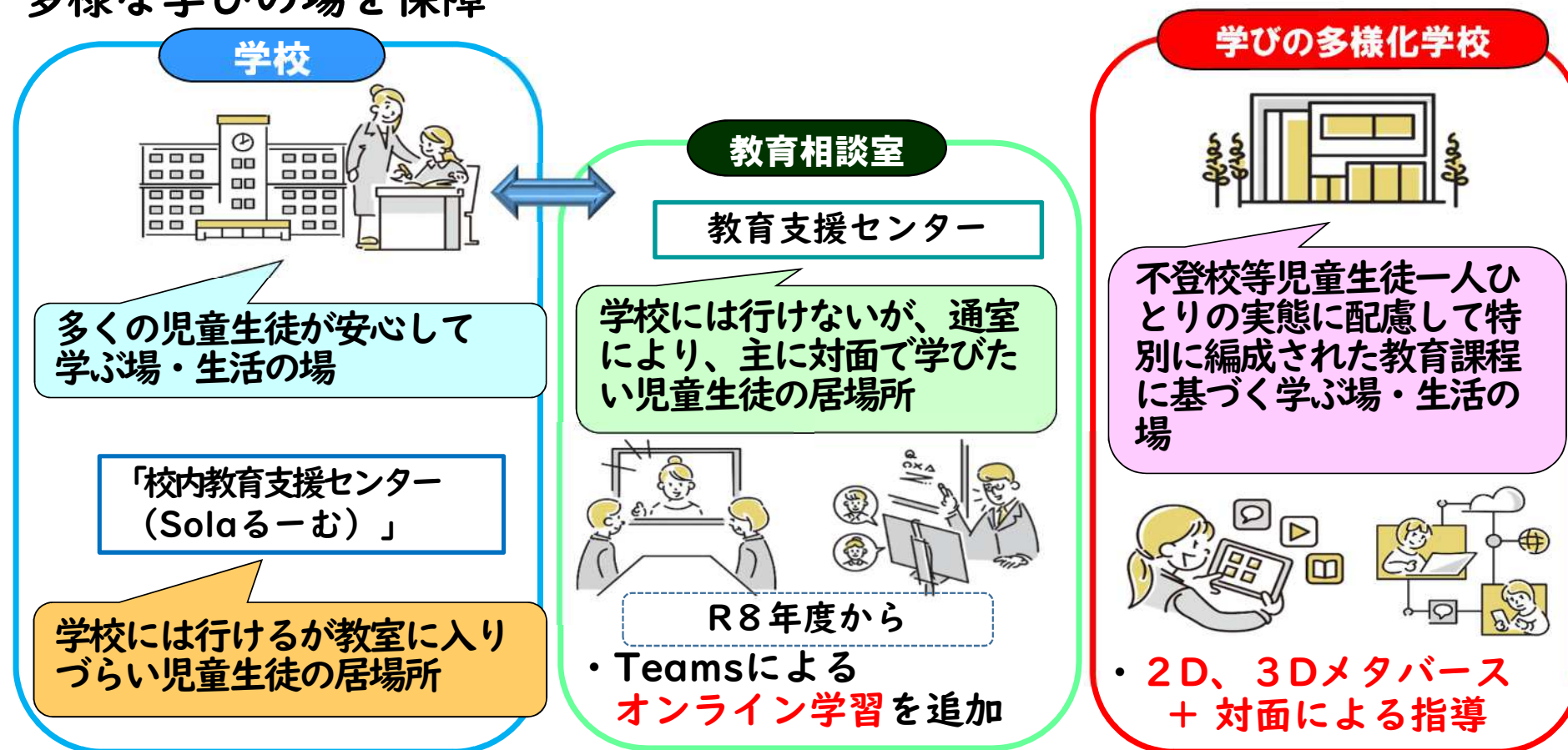
授業時数(予定)

区分			小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3								
教科等	必修	国語	214	306	221	315	172	245	172	245	123	175	123	175	98	140	98	140	74	105							
		社会	-	-	-	-	49	70	63	90	70	100	74	105	74	105	74	105	98	140							
		算数・数学	95	136	123	175	123	175	123	175	123	175	123	175	98	140	74	105	98	140							
		生活・理科	71	102	74	105	63	90	74	105	74	105	74	105	74	105	98	140	98	140							
		「グローバル・スタディ」	34	34	35	35	70	70	70	70	105	105	105	105	157	157	157	157	157	157							
		特別の教科 道徳	24	34	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35							
		特別活動	24	34	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35	25	35							
		「人間関係プログラム」	-	-	-	-	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	-	-	-	-							
	教科等小計		462	646	503	700	536	729	561	764	554	739	558	744	560	726	551	717	575	752							
未来工房	必修	①SMA r Tタイム (教科横断的な学習)	143	-	150	-	112	-	112	-	119	-	114	-	114	-	132	-	115	-							
		②HEARTタイム (こころの時間)	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-	9	-							
	選択	③いそどりタイム (個別最適な学び)	105	-	105	-	140	-	140	-	158	-	158	-	176	-	176	-	158	-							
		④いそどりLAB (最先端LAB)																									
	未来工房小計		257	-	264	-	261	-	261	-	286	-	281	-	299	-	317	-	282	-							
合計時数		(必修) (選択)	719	614 105	884	767 105	662 945	797 140	657 980	822	682 140	1015	840	682 158	1015	839	681 158	1015	859	683 176	1015	868	692 176	1015	857	699 158	1015

(6)「学びの多様化学校」について

「学びの多様化学校」開校後の学びの選択肢

「学びの多様化学校」による支援とともに、一人ひとりのニーズに応じた多様な学びの場を保障



次世代の学校・教育現場を見据えた
先端技術・教育データの利活用推進

成 果 報 告 会

令和7年 2月13日(木)
さいたま市教育委員会